

生活

具体的な活動や体験を通して、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

- 「思いや願いをもつ」「活動や体験をする」「感じる・考える」「表現する・行為する（伝え合う・振り返る）」の四つのプロセスを基本にして単元を展開し、体験活動と表現活動とが繰り返されるようにする。
- 児童の思いや願いを大切に、活動や体験に没頭できるようにする。
- 具体的な活動や体験を通して気付いたことを基に考えることができるように、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を設定する。
- 活動や体験を通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉・絵・動作・劇化などの多様な方法で表現し、伝えたり、交流したり、振り返って捉え直したりする学習活動を設定する。
- 児童の発言やしぐさを、「*四つの目」を重視して丁寧に見取り、問い掛けたり、共感したり、価値付けたりすることで児童の気付きの質が高まるようにする。
*四つの目：児童を見取る基本姿勢
『令和4年度 学校教育の指針』p44参照

体験活動と表現活動とが豊かに行き来する相互作用を重視した学習の例

第2学年 単元名「大きくなあれ わたしのやさい」〔内容(7) 動植物の飼育・栽培〕

単元の目標：継続的に植物を栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働き掛け、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。


気付きの質の高まり

表現する 行為する	 今までミニトマトは好きじゃなかったけれど、自分で育てたミニトマトはおいしくて、食べられるようになりました。ほかの野菜も育ててみたいです。	気付いたことを表現することが、自分と野菜の関わりや体験してきたことの意味を考えたり、自分自身の成長や変容について考えたりすることにつながります。さらに、野菜についての気付きとともに、自分のよさや可能性についての気付きをもつことができるようになります。④
感じる 考える	毎日水をあげて、わき芽つみもしたから、元気に育つことができましたのだと思います。 	困ったときに、野菜名人に教えてもらったからだと思います。
活動や体験 をする	おいしそうな野菜がたくさんとれましたね。どうしてこんなにたくさんの野菜ができたのでしょうか。	野菜を成長させたいという思いや願いを実現するための学習活動を設定することで、児童が野菜の生育条件に目を向け、成長の様子を比べたり、変化を予想して見通しを立てたりすることにつながります。③
思いや願い をもつ	野菜は虫が付くのを嫌がっていると思う。どうすればよいのかな。野菜名人に聞いてみよう。	野菜を成長させたいという思いや願いを実現するための学習活動を設定することで、児童が野菜の生育条件に目を向け、成長の様子を比べたり、変化を予想して見通しを立てたりすることにつながります。③
表現する 行為する	アサガオの時は、肥料をあげたら茎が伸びて花がいっぱい咲いたよ。 	日当たりのよい場所に置くと、もっと大きくなるんじゃないかな。
感じる 考える	どんなお世話をすれば、もっと大きくなりますか。	児童自身がICT端末に記録した静止画を、時系列で比べることで、野菜の変化や成長の様子に気付くことができます。③
活動や体験 をする	今までの写真を比べると、葉っぱが大きくなって、数も多くなっているのが分かりました。もっと野菜が大きくなってほしいです。	活動の中で感じたり考えたりしている児童の姿を見取り、言葉掛けをして活動の充実につなげていきます。⑤
思いや願い をもつ	そうですね。ミニトマトとナスは葉っぱの手触りが違いますね。ほかの野菜も比べてみましょう。	児童がICT端末を使用して野菜の様子を記録する場合は、静止画の撮影前に、見たり、触ったり、においを嗅いだりしながら観察することで、意図をもって撮影することができます。③
感じる 考える	僕のミニトマトの葉っぱはザラザラだけど、ナスの葉っぱはチクチクしているよ。葉っぱを写真に撮っておこう。	就学前施設や家庭での栽培経験を聞き取ったり、これまでの学習での経験を想起する場面を設定したりすることで、児童の思いや願いが膨らむような学習活動を設定します。②
活動や体験 をする	町探検の時に見つけた、種や苗を売っている店で買うことができそうだね。	
思いや願い をもつ	去年はアサガオを育てたから、今度は野菜を育ててみたい。どんな野菜にしようかな。 	

幼児教育の
考え方を生かす

スタートカリキュラム

幼児期の
経験を生かす

幼児期における遊びを通した総合的な学び  p. 3